

知ろう AMR、考えようあなたのクスリ 抗菌薬の正しい使い方

Antimicrobial Resistance: AMR

抗菌薬（抗生物質）とは？

抗菌薬は「細菌」にしか効かない！

抗菌薬は細菌が原因となる病気の薬であり、ウイルスが原因となる風邪、インフルエンザには効きません。



ウイルス

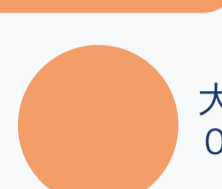
大きさ
0.00001mm

抗菌薬



細菌

大きさ
0.001mm



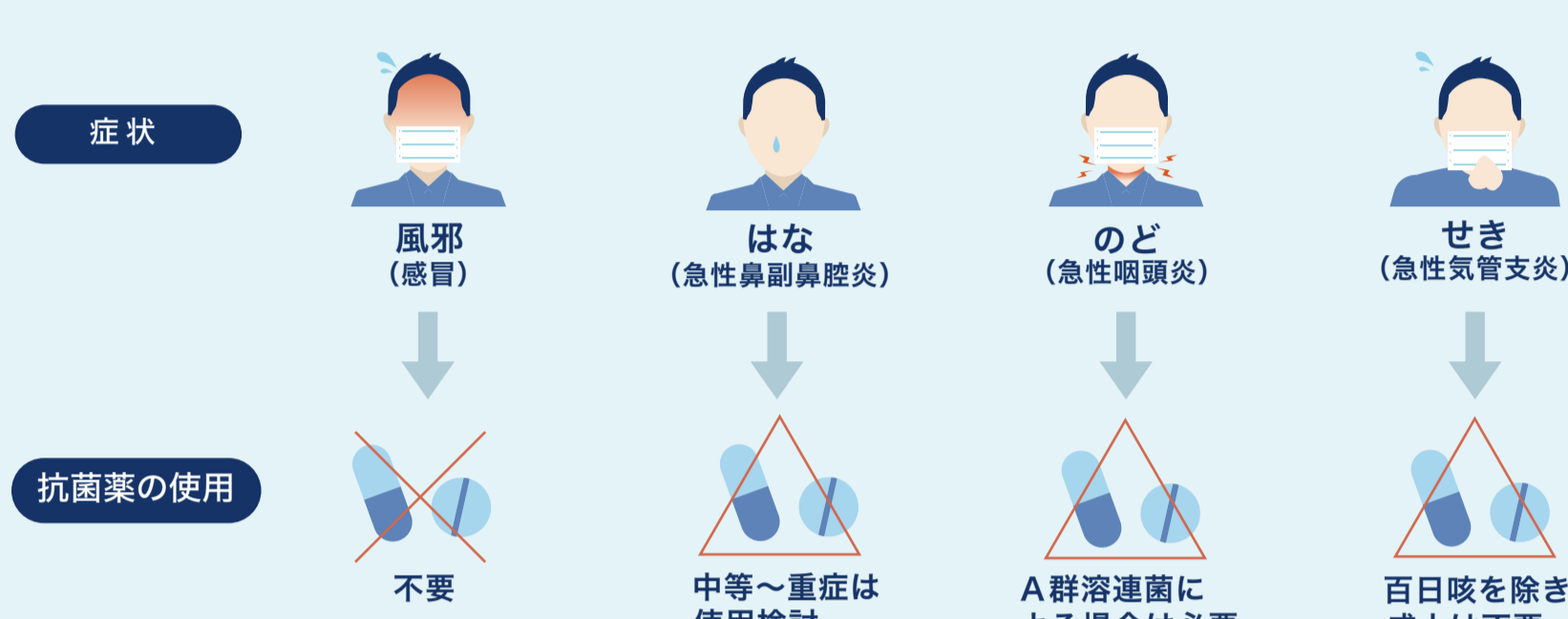
ウイルスによる病気

風邪（感冒）、インフルエンザ、風疹など

細菌による病気

肺炎、中耳炎、膀胱炎など

症状によって必要な対応は異なります。診察を受けた医師の指示にしたがってください。



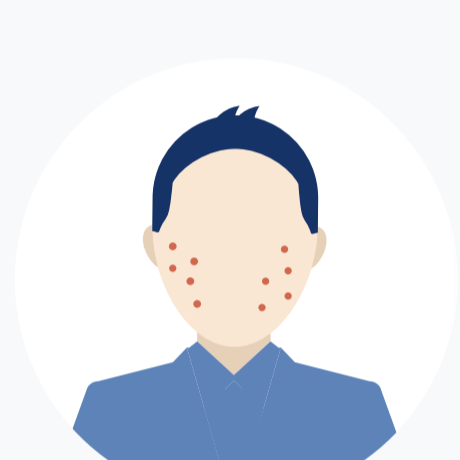
厚生労働省作成「抗微生物薬適正使用の手引き 第一版」による
対象：基礎疾患のない学童期以降の小児と成人

抗菌薬を正しく理解しましょう。



抗菌薬の効果

ウイルスが原因の病気には効きません。



副作用

下痢・嘔吐・発疹などの副作用をおこすこともあります。



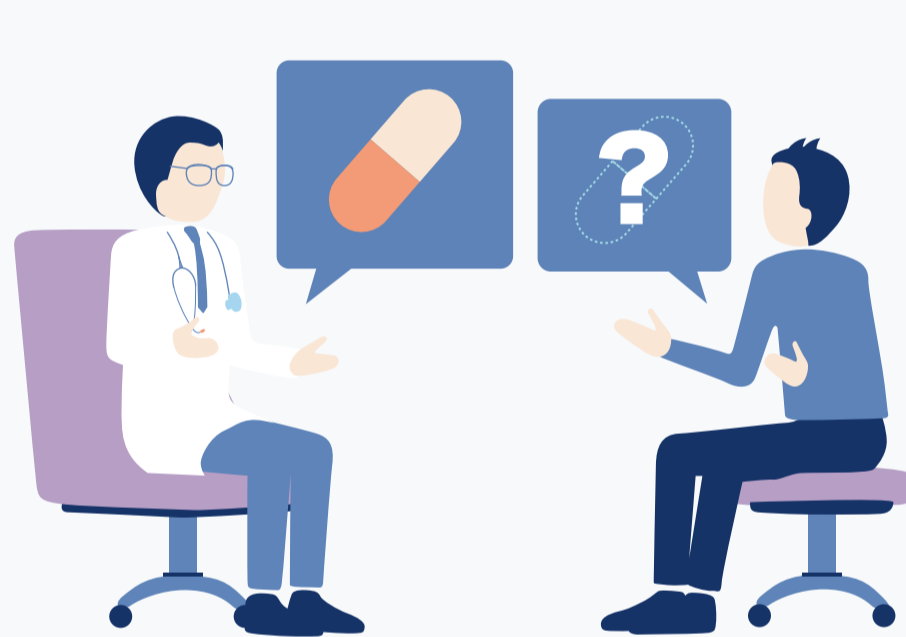
薬剤耐性へのリスク

必要のない抗菌薬の服用は薬剤耐性菌の増加につながります。

薬の正しい使い方

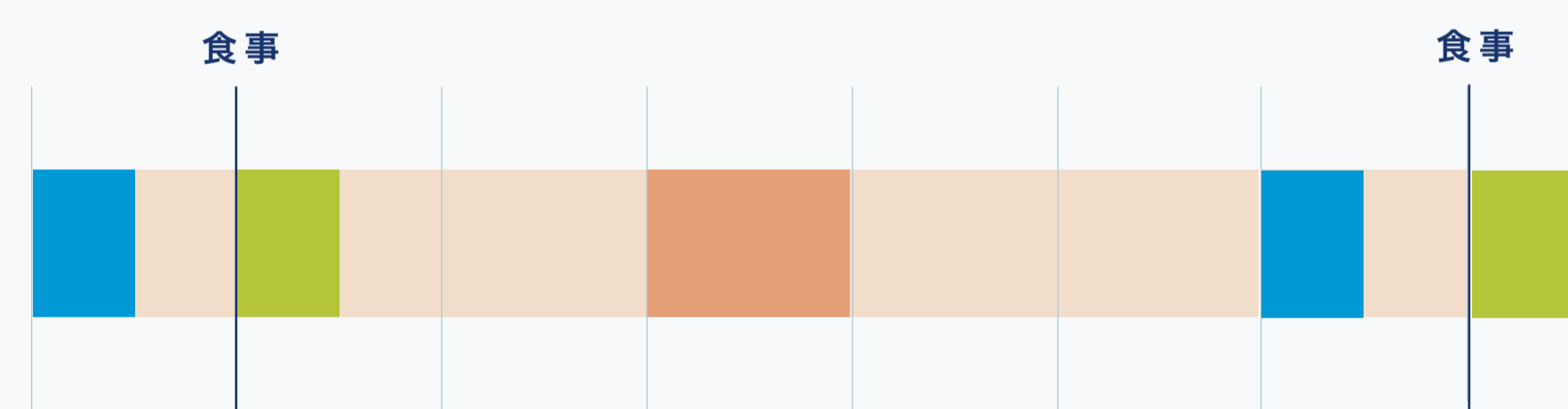
1. 医師・薬剤師の説明を良く聞きましょう

わからないことは質問しましょう。

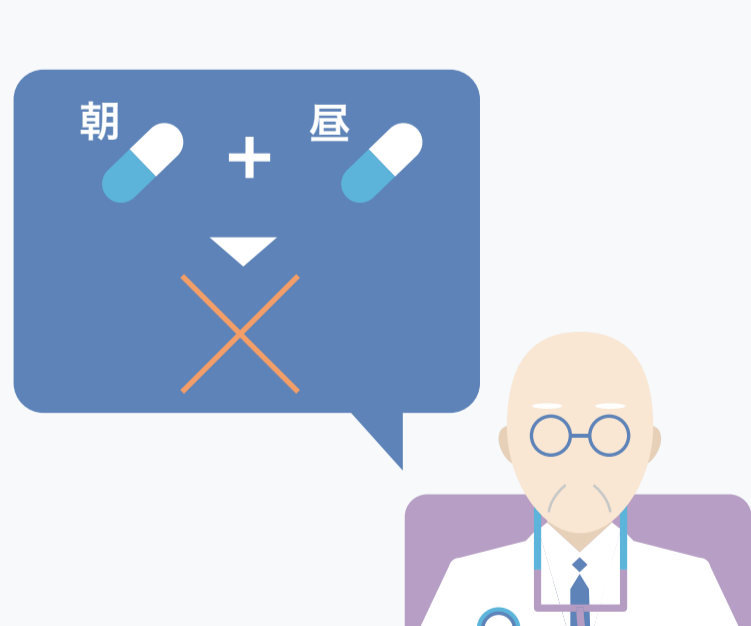


2. 飲むタイミングを守る

用法の指示のうち、「食前」「食後」「食間」とは以下のタイミングを言います。



- 「食前」：食事の1時間～30分前（胃の中に食べ物が入っていないとき）
- 「食後」：30分以内（胃の中に食べ物が入っているとき）
- 「食間」：食事の2時間後が目安（食事と食事の間）※食事時の服用ではない

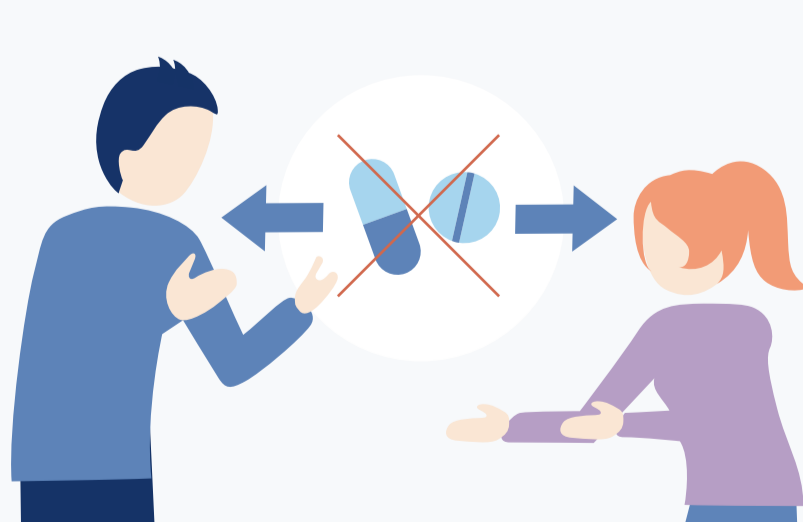


3. 薬を飲み忘れた時

気づいた時にすぐに飲みましょう。次の服用時間が迫っている場合は1回分を抜いて、その次から処方通りに飲みます。2回分を一度に服用してはいけません。詳しくは医師や薬剤師に確認してください。

4. 処方された薬はあげない、もらわない

症状や体質・年齢などを考慮して処方されているため、他の人にあげたり、もらった薬を服用することはやめましょう。



5. 薬の飲み合わせに注意

薬の飲み合わせによっては十分な効果が得られなかったり、体に悪影響を及ぼしたりすることがあります。食品やサプリメントにも、薬との飲み合わせが悪いことがあります。医師や薬剤師に確認しましょう。